

昨年9月の関東・東北豪雨で被災した 県内の河川、橋、道路などの復旧に全力健闘中 “地域建設業の大きな役割”

〈一級河川黒川（鹿沼市奈佐原地区）の被災から復旧まで〉

① 被災直後（破堤状況）平成27年9月10日



② 被災3日後（応急復旧状況）



③ 被災その後（応急復旧状況）平成27年10月



④ 被災その後（本復旧状況）平成28年2月



⑤ 完成 平成28年9月



建設工事のご相談は、お近くの建設業協会各支部にお気軽にお問い合わせください。



一般社団法人 栃木県建設業協会

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1

TEL.028-639-2611(代) FAX.028-639-2985 URL <http://www.tochiken.or.jp/>

■宇都宮支部／TEL.028-636-5221
■鹿沼支部／TEL.0289-65-2020
■日光支部／TEL.0288-54-0140
■芳賀支部／TEL.0285-82-2051
■下都賀支部／TEL.0282-24-5420

■塩谷支部／TEL.0287-43-0142
■那須支部／TEL.0287-22-2124
■烏山支部／TEL.0287-82-3161
■安蘇支部／TEL.0283-24-3838
■足利支部／TEL.0284-71-0044

とちぎを
楽しもう

ぶらっと

Bratto

2016 Oct
vol.10

FREE
フリーペーパー
ご自由にお持ちください

特集「とちけん小町魅力向上委員会」発足 （一社）栃木県建設業協会・座談会

- 本当は教えたくない 女性にも人気のグルメスポット
- “地域建設業の大きな役割”

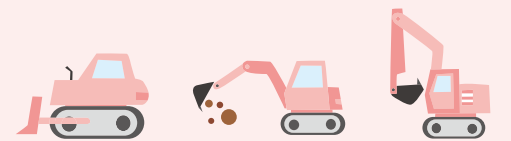


◆発行／一般社団法人栃木県建設業協会 会長 渡邊勇雄 <http://www.tochiken.or.jp/> ◆発行人／広報委員長 岩原正樹 ◆編集・デザイン／藤崎印刷(株)



この情報紙は 栃木県建設業協会 がお届けしています

「とちけん小町魅力 向上委員会」発足



男性社会といわれる建設業界ですが、最近は県内の建築・土木の現場で生き生きと働く女性も徐々に増えてきました。しかしながらいまだに「きつい」、「汚い」、「危険」など3K産業と、若い世代からは敬遠されがちです。一般社団法人栃木県建設業協会（渡邊勇雄会長）では、そうした現場のイメージアップを狙い、同協会の青年経営者連合会（青経連、井戸和廣会長）と栃木県県土整備部が協力し、現場で働く女性をメンバーとした「とちけん小町魅力向上委員会」を発足させました。今回、第1回の座談会を開き「建設現場の環境改善」「業界の魅力アップのためにすべきこと」などについて議論しました。

（企画・制作 下野新聞社営業局）

■座談会出席者

建設業協会	栃木県建設業協会青年経営者連合会	
	会長 井戸 和廣氏（井戸産業㈱）	
	幹事長 猪股 弘樹氏（㈱猪股建設）	
	中村土建㈱ 柏倉 亜美氏	
	松本建設㈱ 小野崎恭子氏	
	㈱山本造園土木 黒川しのぶ氏	
	川上建設㈱ 板 和恵氏	

行政	栃木県県土整備部 技術管理課検査班	おおもり ゆか 大森 由香氏
	〃 建築課	すとうま りこ 須藤麻里子氏
	〃 道路整備課	こうづま ゆかり 高妻由香里氏
	〃 都市整備課	しずく のりこ 栗 紀子氏



井戸会長

●司会・猪股 「とちけん小町魅力向上委員会」座談会を開催します。まず井戸会長からごあいさつをお願いします。

●井戸 男性社会といわれる建設業界で、女性が活躍できる場を少しでも広げようと委員会を持ちました。今後、女性ならではの目線を生かし、女性も活躍できるように現場の魅力を発信していただきたいと思います。

◆とちけん小町への思い

一委員会は昨年度から活動が始まっていたようですね。

●小野崎 建設業界の4人、行政からの4人で3月から活動を始めました。最初に顔合わせと意見交換会を実施し、お互いの現状報告、組織名を決めるため、各自が案を持ち寄りました。2回目は持ち寄った案の中から名称として「とちけん小町魅力向上委員会」を選び座談会の議題などについて話し合ってきました。

●黒川 9案が出て、組織イメージ、活動の趣旨を踏まえ決めました。栃木県の建設業に携わる女性の会であることが伝わりやすい点、

今後建設業界に入ってくる若い女性にも魅力ある業種として伝えたいという思いを込めました。

一自己紹介と、業界に入ったきっかけや仕事の内容を教えてください。

●柏倉 民間建造物の現場で現場代理人をしています。幼いころからインテリアに興味があり、「自分の部屋を少しでも広くするにはどうしたらいいか」などを考えるようになったのが業界を志すきっかけでした。また祖父が大工であったのも影響しました。

●小野崎 設計の仕事に従事したかったので入りました。現在は、建築現場で現場管理をしています。現場を見るだけでなく工程管理、予算管理、施工図作成など最初から最後まで行っています。

●黒川 公園の造成工事現場で現場代理人や建設重機での作業など、土木全般に携わっています。中学の時、父に「これからの時代は、女性も手に職を付けなければ」と言われ工業高校に進み建築を勉強しました。でも自分は「建築はあってないな」と思い、当時の上司の助言も受けて土木の世界に飛び込みました。



小野崎氏

女性が活躍できる環境づくり



一般社団法人 栃木県建設業協会
会長 渡邊 勇雄

建設業界では、地域の社会資本整備等に貢献してきた技術者等の大量退職に加え、若年就業者の減少等により、将来の建設業を担う人材の確保・育成が喫緊の課題であり、建設業の必要性等を県民の皆様に御理解いただけるよう、PR等に努めております。このような中、男社会と言われてきた各産業界では、活躍する女性達がクローズアップされるなど様々な面で変化しており、建設業界でも女性の活躍できる環境づくりが重要な時期を迎えております。1986年に「男女雇用機会均等法」が施行され、また、本年4月には「女性活躍推進法」が施行されたことから、女性の活躍の場が、ますます広範囲に及ぶものと考えております。

本会といたしましては、女性が活躍できる環境のあり方等を模索するため、栃木県と栃木県建設業協会青年経営者連合会とが連携し、業界の第一線で活躍する女性技術者と県土整備部に所属する女性技術者による、職場環境の改善等に資する意見交換の場を設けていただきました。女性ならではの感性と視点による意見が集約され、具体的かつ実現性のある職場環境づくりの一助となるよう期待しております。結びに、この度の企画にあたり、栃木県の御指導をはじめ、公益財団法人建設業福祉共済団の全面的な御支援に、心より感謝申し上げます。

建設業の創造力アップに期待



栃木県県土整備部
部長 印南 洋之氏

我が国では、災害リスクに備えた防災・減災対策、災害時の迅速な復旧、社会インフラの老朽化対策、さらには地域の活力を維持増進する基盤整備など到的確に対応するため、社会資本整備を担う建設産業の人材育成・確保が急務となっています。しかしながら、建設産業は、きつい、汚い、危険などと、いわゆる「3K産業」として敬遠され、若年入職者の減少とそれに伴う従業者の高齢化が大きな課題となっています。

本来、建設産業は、安全・安心で快適な国民の暮らしを支える社会資本を作り守るという、やりがいのある仕事であり、意欲ある方なら技術や技能を習得することで、男女を問わず誰もが活躍できる職場です。女性が生き生きと活躍できる職場とすることは、とりもなおさず性別や世代を問わず誰もが働きやすい職場環境とすることであり、最終的には建設業全体の魅力、活力、創造力の向上につながるものと考えております。「とちけん小町魅力向上委員会」での検討が、女性が積極的に活躍できる職場環境づくりへと活かせられ、女性技術者による建設産業の魅力の発信と女性ならではの視点や発想を活かした社会インフラ整備が推進されることを大いに期待しております。



柏倉氏

●板 国道50号の舗装修繕工事で現場代理人をしています。業界に入ったきっかけは、勤め先で資格取得の話ももらってからです。道路は毎日の生活になくはないものです。それまでは気に留めることもありませんでしたが、ちょっとした偶然から土木工事に携わるようになりました。

●栗 土木職として入庁し、現在は都市整備課で県が整備を行う街路事業に関する計画立案や予算管理などに携わっています。道路などの社会基盤が日常生活を支えてくれるものとして身近に感じていた事が土木を選んだ理由の一つです。

●高妻 現在、道路整備課に所属し、県が管理する道路事業の計画立案、予算管理などに携わっています。学生時代に建設物ができるまでを描いたテレビ番組を見て土木に興味を持ちました。生まれ育った栃木で働きたいという気持ちも県職員を選んだ理由の一つです。

●須藤 建築職として県に入庁し、県有施設の建築工事に係る設計・工事の監督業務に携わり、現在は基準類の整備関係の仕事をし

ています。小さい頃からものを作ることが好きで、大きくなるにつれ興味の対象が建物へ変わっていきました。建物には人を集め、動かす力があり、何より地図に残るものであることに魅力を感じています。

●大森 技術管理課検査班で各課発注の委託や工事が発注通り出来ているか検査しています。昔テレビでゴジラなどが街を破壊するシーンを見て、もう一度街を作り直す事を考えたのがきっかけ。新しいゴジラは宇都宮で撮影され、栃木県議会議棟が首相官邸の設定です。議会議棟がゴジラに踏み潰されていないか心配です。

◆建設現場の実際

一建設現場は「男性社会」などといわれますが、女性の目線ではどうでしょうか。

●小野崎 私が入った頃は、男性一色の現場で職人さんから「女性は珍しいね」と言われました。現場事務所に初めて来る営業の方の大半は、男性管理者の所に向かわれてしまいます。やはり「男社会なのだな」と思っています。

●大森 私の入庁時、県土整備部の女性技術職の先輩は1人だけでした。女性技術職員もたくさん増えましたが、いまだに外部の方は技術職とは思わないのか目の前を素通りされる事があります。

●黒川 入社した当時、女性はいませんでした。現場でも「変わっ



女性目線で現場明るく

てるね」と言われたり、通り返りの人に「土木現場に女性がいた」と注目されました。私も若かったので気にしなかったし「注目されるのもいいことかな」と思っていました。現場では職人さんにかわいがってもらいました。

●高妻 私も入庁1年目の職場では、女性土木職は私1人でした。当時は県土整備部全体でも10人を切るくらいでとても少なく、職場としても慣れない部分があったかと思いますが、温かく迎えていただきました。

●柏倉 同僚・先輩に恵まれて仕事ができていると思っています。でも、男性社会だと感じる面も多いです。大きな声が飛び交う体を張った仕事が多く、まさに男性一色の現場。暑い日などは日焼けしたくないという思いもありますし、暑さ寒さに左右される職業なので大変です。



大森氏

●板 日焼けもそうですが、女性なので服装面も気になります。作業着、安全靴などまだまだ女性用が少ないしサイズもないんです。また体力の面でも男性社会だと思います。

●須藤 以前と比べ「女性を排除しない」というところまでは男性の意識は変わってきているのではないのでしょうか。しかし環境整備の面をはじめ、今はまだ、女性も

働きやすい環境とは言い難いと感じます。ただ、女性が珍しいということもあり、周囲が気を遣って接してくれているのも感じますし、少なからず今の職場（行政）は性別の関係なく働ける職場です。

―実際、業界に入った当初と比較して職場環境に変化は感じますか。

●黒川 今回受けた仕事で、現場の看板を変えようという話があって、他と違う私らしさを出してもらおうと、看板をコンパクトにして、桜の花をバックに入れ、かわいらしいクマの絵を入れてもらいました。それをきっかけに、近所の方からも「かわいい看板だね」と声を掛けてもらったりしています。

●雫 女性技術者が増えた点です。入庁当時、土木職の女性は5人程度でしたが、今は20人を超えています。入庁当時は女性が少ないことで心細さもありましたが、最近は土木職の女性同士で同じ職場になることも増えて相談事もしやすくなり、働きやすくなってきていると思います。また、「トンネル工事に女性は携われないし、現場見学もできない」時代もありましたが、労働環境の改善や法律の改正により、女性も携われるようになったことは現場環境における変化だと思います。

●柏倉 一番感じるのは衛生面です。入社当初は現場のトイレは男女兼用でしたが、最近はどの現場でも女性専用トイレもあります。トイレだけでなく、更衣室、休憩所の分煙の徹底など衛生面の改善も増えています。

●小野崎 現場に私が入って変わったと思えることはないんですが、昼間は現場、夕方から事務作業が入るので大変な職場になりました。

●板 私のいる現場は現場事務所もなく、仮設トイレも男女兼用、それも電気がないので、夜間は真っ暗になってしまい、私はその



須藤氏

トイレを使う気にはなれませんでした。

◆イメージアップのため
―業界のイメージを変えるにはどのような改善策が必要だと思いますか。

●小野崎 やはり衛生管理です。女性専用トイレや更衣室など身近なところの整備が、ますます進むとイメージも改善されていくと思います。

●大森 いまだに現場の仮設トイレは「汚い」「臭い」「鍵が不安」などマイナスなイメージがすぐ浮かびます。初めて現場を担当した時、先輩に「現場事務所のトイレに入る勇気があるか!」と聞かれた事を思い出します。現場のトイレは男性にとっても勇気を持って使うものなのかと思いました。最近は女性専用トイレなど設置する現場も増えていると聞きます。建設現場の職場環境を改善すると業界のイメージアップにつながりますよね。

●柏倉 逆転の発想ですが、私は男性の更衣室を設けてほしいです。現場に女性がいても平気で着替えを始める男性もいるんです。そうした環境改善の取り組みがあってもいいと思います。

●黒川 私も環境整備からイメージは改善されると思います。それから土木の現場にも「女性もいるんだよ」というのを分かってもらうように、一般の方に向けたイメージアップ策も必要ではないでしょうか。



板氏

●須藤 県発注の工事看板には「とちまるくん」を積極的に入れていますし、仮囲いもイメージアップに使えますよね。工事概要や現場のPRだけでなく、例えば子供たちが描いた絵を仮囲いにプリントするなど、地域の方とのコミュニケーションがとれ、現場の前を通る人が笑顔になれるような仕掛けもイメージアップの一つだと思います。

●雫 現場を整理整頓することや工事中の一般の方への通行への配慮、道路工事における土ぼこりを押さえる工夫など、工事現場における安全対策や環境改善も業界のイメージアップの一つであり、良い印象を持ってもらえるきっかけになると思います。

●板 私も看板の工夫は大事だと思います。以前現場の看板に「とちまるくんを入れよう」という話が上ったのですが、その現場は茨城県なので却下されました。やはり誰もが目にする看板なので、誰が見ても工事の内容や工期が分かりやすく、また親しみやすくすることも重要ですね。

●柏倉 「3K」のイメージをなくすのは大変だと思いますが、それで許される時代ではないと思います。環境改善は必須事項です。弊社でも「ノー残業デー」を始めたり、ITの導入で業務の効率化を図っています。対外的にはインターネットのホームページや、フェイスブックで、日々の出来事を発信しています。外部へのPRと内部の働きやすさの両面でバランスが取ればイメージも良くなるでしょう。

●雫 仕事にメリハリをつけることも大事だと思います。残業が少ない、休暇が取りやすい、できる事とできない事が明確、などが改善されれば、男女問わず働きやすい環境になると思います。核家族



黒川氏

化の進む現代で、出産、子育てなどのライフイベントは男女問わず避けられないものですし、その辺のイメージアップも必要です。

●高妻 仕事も大事ですが、同じくらいに家庭も大事です。両立するのはなかなか難しいですが、そういった点で、部下の働きやすさをサポートする「イクボス」（男性従業員の育児参加に理解ある上司）が職場に必要なのかもしれませんが。結婚や子育て、介護など、さまざまなライフイベントが想定される中で、男女ともに働きやす

イメージ一新 魅力発信

◆業界の魅力を発信

―委員の皆さんが思う業界の魅力をアピールしてください。

●黒川 土木には同じ現場が二度とないんです。土の質なども異なるので飽きることがなく毎回新鮮な気持ちで臨んでいます。近隣の方との距離も近いので、道路が出来上がった時に「よかった。これで出入りしやすくなったよ」など

と感謝されると、この仕事を続けて良かったと思います。

●高妻 近年の自然災害によって、道路、橋など河川構造物の必要性が再確認されつつあります。生活する上でなくてはならないものを造り、守っていく建設業は、誇り高い仕事。計画から完成までの全工程に携われるのは土木公務員の醍醐味です。体力を要し大変なこともあります。業者の方と試行錯誤しながら一丸となって造り上げたものが完成したときは、大きな達成感があります。

●小野崎 建物が一つ一つ形になっていく姿を間近に見られたり、常に建築の現場は「一期一会」です。特に完成した時の達成感は何ものにも代えがたいものがあります。

●須藤 工事をしているといういろんなハプニングがあります。それを現場の代理人さんや職場の先輩と話し合いながら問題を解決していくので、答えは一つではありません。設計図は同じでも、作り手側の配慮や創意工夫によってより良い違うものが完成していく、そんな点がこの仕事の魅力の一つであり、皆さんの財産をつくる一翼を担うという誇り高い仕事です。

―ではその「魅力」を伝えていくにはどのような活動が良いと思いますか。

●雫 安全性の確保などの課題はありますが実際に重機に乗るなどの体験型のイベントは子供たちに興味を持ってもらえるのではないのでしょうか。県の事業では、舗装施工前の路面でのお絵かきイベントなども実施している事例があります。また、工事の経過がわかるような見学会など、見せ方を工夫すると建設業に対する理解も深まると思います。

●小野崎 一般の方に現場を知ってもらうためには、やはり現場見学会だと思います。特に工業高校、大学の工学部の学生をインターンシップとして受け入れる事業が効果的だと思います。

●大森 以前、青年経営者連合会と高校生で子供向けに業界のPR紙芝居を作ったと聞きましたが、対象を子供向けとした集まりで披露するのも魅力発信につながるのではないのでしょうか。

●柏倉 実際に現場を見てもらうほかに、現場内の「5S活動」や



高妻氏



雫氏

い環境があることが“働き続けたい職場”につながり、人材を確保していく上でも大切だと思います。

●小野崎 やはり現場はどうしても長時間労働になりがちなので、ノー残業デーとか、すごく大切だと思います。男女問わず、休んだ時のバックアップ体制など、誰が休んでも現場が動くというような社内伝達機能ができるといいですね。

近隣の清掃活動、地域のイベントのお手伝い、現場研修会が思いつきますね。そのほかでは研修会は参加者だけへの情報発信なので、多くの人に知ってもらうための活動として、ITを使ったりさまざまなメディアを利用して発信していく必要があるでしょう。

―委員会では今後どのような活動ができると思いますか。

●黒川 あいさつ運動などコミュニケーション活動は身近で手軽な活動なので実践したいです。また、女性ならではの視点として清潔感のある現場事務所の整理整頓、身だしなみについて声掛けをするなどの活動もイメージアップとして発信できるのではないのでしょうか。

●大森 栃木県の建設業界のイクボスを探すのもいいと思います。とちけんのロールモデルを発掘するのはどうでしょうか。

●小野崎 学生を対象にするならばインターンシップの活用もあると思います。そうしたことを進めるためにもトイレだったり現場の整備なども平行してしっかり行って、次の世代をがっかりさせないための整備も行っていくべきだと思います。

●須藤 「女性でも働ける職場」という視点で研修会や現場見学会を開催すれば、学生だけでなく転職を考えている方にも働きかけることが出来そうですね。専門的な世界に飛び込むには勇気いることだと思うので、初歩的なことから気兼ねなく意見交換ができる場があれば心強いサポートになると思います。

―最後に、今回の座談会を受けて一言お願いします。

●井戸 コミュニケーションの重要性、男女問わないライフイベントへのサポートなど、さまざまな角度からの意見がありました。青年経営者連合会でも、県内10支部ある中で総合学習支援と銘打って、重機の体験や測量実習などを通じPRしてきました。紙芝居の取り組みもその一つです。魅力を向上させるためのイメージアップ活動などで、この先少しでも女性の従事者が増え、この業界の未来が明るくなることへ向けて努力していきます。具体的な活動の第1弾として、委員会による「今現場どうなってる? 綺麗かな検証会」を実施したいと思います。今後もとちけん小町魅力向上委員会の活動の支援をよろしくお願いいたします。

●猪股 委員の皆さん、ありがとうございました。とても有意義な座談会になりました。現場環境の改善、建設業界の魅力発信などを議論したわけですが、改善点やヒントもありましたし、女性ならではの「逆転の発想」もありました。今後も魅力ある栃木の建設業界、誰でも働きやすい建設業界を目指し活動していきます。

(敬称略)



猪股幹事長



地元に根付く 栃建協 本当は教えたくない女性



鉄板焼 TSUKINOUSAGI

住 宇都宮市鶴田2丁目14-6 **営** ランチ 11:30~14:00
TEL 028-647-4129 **ディナー** 17:30~22:00
休 無 ※土日祝は21:30



街中の喧騒を離れ、とても落ち着いた大人の隠れ家的な雰囲気、地元とちぎ和牛をはじめ、極上の国産牛と地場産の有機野菜をふんだんに使って、前菜からデザートまでカウンターいっぱいに広がる目の前の鉄板で調理してくれるお店です。料理に合う厳選されたワインの品揃えも豊富で大切な方との時間を過ごすには最適です。また、ランチメニューも充実しており、お子様プレートなども準備されていて、ママたちの集まりにご利用いただけるお店です。

新鮮な魚と旬の食材で
ワインを楽しめます。

岩原産業(株) 岩原正樹さん



東京の超有名店出身の
シェフの料理は最高です!

宇都宮土建工業(株) 荒井 学さん

鮭遊膳みのり

住 宇都宮市東宿郷3-13-6 吉田マンション1F
TEL 028-633-0007
営 ランチ 11:30~13:30 (土日のみ)
ディナー 17:30~22:30 (火~金)
17:00~22:30 (土)
17:00~21:30 (日祝)
休 月曜日、第3日曜日



大将が厳選した鮮魚と季節料理が楽しめるお店です。自慢のカウンターでは大将の職人技を楽しみながら自慢のにぎりいただけます。各種宴会・歓送迎会・慶事法事などに最適な掘り炬燵のお席(2名様~40名様)の用意もあります。また、大切な方のおもてなしや会社の接待としても利用できる最大8名様までの完全予約制の個室も完備。美味しいワインの品揃えも充実していて女性の皆さんも楽しんでいただけます。「鮭遊膳みのり」で最高のお寿司と料理を心ゆくまで堪能ください。

わいわいワインで炭火焼 ぱちぱち

住 宇都宮市昭和1-1-24 小口ビル1F
TEL 028-627-8870
営 17:30~24:00
休 月曜日



日本三大地鶏の名古屋コーチンを使った鶏料理と厳選ワインを楽しむ居酒屋です。「ぱちぱち」では、名古屋コーチンを契約した農場から冷凍されない「生」のまま直接仕入れており、その適度な脂と弾力、歯ごたえは最高です。炭火焼ならではの焼き鳥、そしてバラエティー豊かな創作料理と豊富なワインを存分に楽しめるお店です。女性のお客様も多く、店内も落ち着いたおしゃれな雰囲気ですので、女子会やお一人様での利用にも最適です。

ワイン以外に
日本酒も
焼酎も
充実です。

(株)テツカ産業 手塚 誠さん

会員行きつけの にも人気のグルメスポット



特製ハンバーグ
980円

リべるた酒場 リべるた食堂

住 宇都宮市中央2-3-1 ラシックビル市役所前2F
TEL 028-612-7511
営 11:30~23:00 (L.O./22:30)
休 日曜日 月曜日(祝日)の場合は日曜日は営業いたします



宇都宮市役所近く、気取らない雰囲気と居心地のよさが魅力です。昼は食堂、夜は酒場と名前を変え、「存じやす極」の小林シェフが監修した絶品料理を提供しています。人気の『特製ハンバーグランチ(1,080円)』は、サラダ、ライス、ドリンク、デザートがついた、ボリューム満点のセットです。

老舗店のステーキたれて
楽しい時間を…。



上陽工業(株) 上野勝弘さん

味噌チゲらーめん
930円



熟成田舎味噌らーめん 幸麺

住 宇都宮市戸祭元町4-5
TEL 028-623-4455
営 11:00~15:00、17:00~21:00
※スープがなくなり次第終了
休 月曜日、第3火曜日(祝日の場合営業)



この辛さ、
本当にクセになるんです。



日豊工業(株) 轟 久敬さん

ジェラートホーン
324円



Pâtisserie Ts.Nakagawa

住 宇都宮市江曾島町1068-1
TEL 028-658-8104
営 10:00~19:00
休 月曜日(他に月1~2回休みあり)



旬の素材を使った華やかなスイーツが並びます。中でも注目はパティシエが手がけるジェラートです。コーン型をしたザクザク食感の手作りシュー生地、好みのジェラートをチョイスします。下にカスタードや生クリーム、パルフェを忍ばせるなど、細部まで工夫とこだわりがたっぷりです。

甘さ控えめで
工夫満点。



中村土建(株) 渡邊幸雄さん

